**単元２ 神学校献金（神学生奨学金献金）について**

**Ｑ１： 2013年度から神学校献金の名称が変わったのはなぜですか。**

Ａ１：神学校献金は従来から、西南学院大学神学部で学ぶ神学生（大学院生も含む、以下同様）の授業料と生活費の一部を支えるため、奨学金という形で用いられてきました。更に2012年の連盟定期総会において、西南学院大学神学部だけでなく、東京バプテスト神学校（専攻科）と九州バプテスト神学校（牧師コース）で、伝道者となるために学ぶ神学生にも用いられるよう、連盟理事会から「神学校献金使途拡充の件」として提案され議決されました。そこで「神学校献金」の使途を明確にするため、2013年度より「神学校献金（神学生奨学金献金）」という名称に変更いたしました。

**Ｑ２：神学校献金はどのように使われていますか。**

Ａ２：西南学院大学神学部神学生の奨学金のために使われています。なお、2013年度から東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校で、伝道者となるために学ぶ神学生にも用いられるようになりました。

**Ｑ３．奨学金の内容はどのようなものですか。**

Ａ３：西南学院大学神学部神学生には、１種奨学金（授業料、施設費、教育充実費などの校納金）と２種奨学金（生活費補助）を貸与（一部返還の義務あり）しています。また、東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校の神学生の場合は、授業料の一部を奨学金として支給（中途退学や伝道者とならなかった場合等は、返還義務が生ずる）しています。

**Ｑ４：奨学金は返してもらわなくても良いのですか。**

Ａ４：西南学院大学神学部神学生には貸与ですから、返還の義務があります。奨学金規程に次のように定められています。

１種奨学金・２種奨学金 ： 卒業後、４年以上伝道の業に従事し、卒後10年以内に１種奨学金の2割以上返還した場合、その残額と、２種奨学金の全額を免除。

　　　なお東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校の神学生には、支給ですので原則的には返還義務はありません。（支給は、西南学院大学神学部神学生の８割免除に相当する、という考えから授業料の８割を奨学金として支給しています。）

**Ｑ５：返還の規定が守られない場合にはどうなりますか。**

Ａ５：まず本人に返還を請求し、それでもだめな場合には推薦教会に返還を求めます。なお、東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校の神学生の場合も、中途退学や伝道者とならなかった場合は返還義務が生じますが、返還についての事務作業は各神学校が行います。

**Ｑ６：奨学金の金額は（年間）いくら位ですか。**

Ａ６：（西南学院大学神学部）神学科神学生

　　　　　１種奨学金　校納金： 授業料75万円 施設費17万円　教育充実費4万円　合計96万円

２種奨学金 　54万円（配偶者なしの場合は30万円）

（西南学院大学大学院）神学研究科神学生

１種奨学金　校納金： 授業料57.6万円 施設費13万円 合計70.6万円

２種奨学金 　54万円（配偶者なしの場合は30万円）

（参考：2000 年度までの２種奨学金は月額本人35,000円 配偶者12,000円、就学児10,000円、未就学児9,000円でした。）

　　　（東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校）神学生

　　　　　　奨学金　12万円（授業料15万円の８割）

**Ｑ７：2013年度の奨学金貸与の対象者は何名ですか。**

Ａ７：西南学院大学神学部神学生は、諸教会から推薦された学生20名（2014年度は19名）が対象者です。数年前は30名ほどの神学生が貸与を受けていましたので、かなり減少しています。

　また東京バプテスト神学校神学生は2名（2014年度は4名）、九州バプテスト神学校神学生は1名（2014年度も1名）です。

多くの神学生が起こされることが大きな希望であり、祈りです。

**Ｑ８：奨学金の財源は。**

Ａ８：全国壮年会連合を通して献げられる神学校献金(神学生奨学金献金)によります。

**Ｑ９：神学校献金はすべて奨学金に充てるべきでは。**

Ａ９：献金のすべてが奨学金に充てられることが原則です。しかしながら奨学金制度を運営するための事務費、神学校献金の目標額を達成するための事務推進費として、ある程度の経費が必要です（女性連合が担っている世界祈祷週間献金も一部、推進のために使用されています）。壮年会費納入額が増加する事により、事務推進費として使用する金額を少なくする事ができます。この事も大きな課題であり祈りです。

**Ｑ10：神学校献金のこれまでの目標額と実績は。**

Ａ10： ここ５年間は2300万円台で、横ばい状況です。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 目標額 | 実績 | 達成率 | 年度 | 目標額 | 実績 | 達成率 |
| 1998 | 2850万円 | 2011万円 | 70.6％ | 2006 | 3000万円 | 2446万円 | 81.5％ |
| 1999 | 2200万円 | 1928万円 | 87.6％ | 2007 | 3000万円 | 2480万円 | 82.7％ |
| 2000 | 2400万円 | 2123万円 | 88.5％ | 2008 | 3000万円 | 2491万円 | 83.0％ |
| 2001 | 2400万円 | 2137万円 | 89.0％ | 2009 | 3000万円 | 2411万円 | 80.4％ |
| 2002 | 2400万円 | 2252万円 | 93.8％ | 2010 | 3000万円 | 2325万円 | 77.5％ |
| 2003 | 2500万円 | 2226万円 | 89.0％ | 2011 | 3000万円 | 2345万円 | 78.2％ |
| 2004 | 2500万円 | 2421万円 | 96.8％ | 2012 | 3000万円 | 2228万円 | 74.3％ |
| 2005 | 3000万円 | 2498万円 | 83.3％ | 2013 | 3000万円 | 2292万円 | 76.4％ |

**Ｑ11：神学校献金の目標額はどのようにして決められるのですか。**

Ａ11：2005年度より3000万円にアップとなりました。この金額は、多くの献身者が起こされ、最低でも25名の神学生に将来にわたって安定的に奨学金を貸与していくために、継続的に毎年3000万円が必要であるとの試算から得られた数字です。また2013年度から東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校の神学生へも神学校献金の使途が拡がりました。より多くの伝道者を生み出すために3000万円の目標が達せられることを祈ります。

**Ｑ12：2014年度各神学校では、何人の神学生が学んでいますか。**

Ａ12：西南学院大学神学部：大学院11名、学部専攻科2名、学部7名、学部選科4名、研修生（聴講生）2名の合計26名

東京バプテスト神学校：神学専攻科5名、教会教育専攻科1名、教会音楽専攻科2名の合計8名

九州バプテスト神学校：牧師コース4名　（連合立等神学校は、本科コース学生を除く人数）

**Ｑ13：各神学校の運営財源はどうなっていますか。**

Ａ13：西南学院大学神学部：学校法人 西南学院

東京バプテスト神学校：三地方連合（東京・神奈川・北関東）からの支援金、連盟支援金、献金

九州バプテスト神学校：九州四地方連合・諸教会からの支援金、連盟支援金、献金

 （神学校献金は、西南学院大学神学部や各神学校の運営費には使用されません。）

**Ｑ14：各教会ではどのようにして神学校献金を献げたら良いのですか。**

Ａ14：毎年６月に行われる神学校週間を用いて献金される教会・伝道所が多いと思いますが、年間を　　　通して神学校献金を献げているところも増えています。また伝道者養成の業の一つとして、本活動を全国壮年会連合が積極的に推進していますので、壮年が主体的に働かれることが多いと思います。しかし、是非教会の皆さまに働きかけていただき、教会の業となることを期待しています。なお、具体的な働きは壮年会連合ニュースなどで紹介していますので、是非参考にしてください。

**Ｑ15：他派の神学校で学びを終了された方々にも、西南学院大学神学部への入学を勧めていますが何故ですか。**

Ａ15：バプテスト主義をしっかりと学んでいただき、バプテスト教会の形成に資するためです。

**Ｑ16：奨学金の返還金は、奨学金の資金として使用されるのでしょうか。**

Ａ16：奨学金の資金の一部となっております。